

総合科目III 科目群E

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|------|-------|--------------------|---|---|
| 1E01011 | 言語と社会 | 1 | 1.0 | 3・4 | 秋C | 月1,2 | 1C210 | 佐々木 勲人 | 我々は言語によって世界を捉え、思いを表現しながら社会生活を営んでいる。言語と社会の関係に関わるさまざまな側面について、特に教育・文化・情報等の学際的な視点から考察する。 | (人文開設) 【受入上限数120名】 |
| 1E01021 | 食文化からみる民族と歴史 | 1 | 1.0 | 3・4 | | | | | 私たち人間にとって生の根源である食とそれにまつわる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。本授業では、「食」をキーワードに、民族とその背後にある文化を掘り下げ、さらにそこから歴史をどう読み取るのか、また、食文化の中に多様性/共通性が生まれた背景は何であるのかに迫っていくことを目的とする。 | (人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受け入れ上限120名】 |
| 1E01034 | 現代社会の哲学的考察 | 4 | 1.0 | 3・4 | 秋C | 水5,6 | 2C404 | 土井 裕人 | 現代社会の諸問題について、哲学・思想の視点から掘り下げて考察する。 | (人文開設)【受入上限数80名】 西暦奇数年度開講。 |
| 1E02011 | 変動する地域を捉える | 1 | 1.0 | 3・4 | 秋AB | 月2 | 2B309 | 木村 周平 | いつの時代・社会においても、人々の生活はそれぞれの地域のなかで、その地域をとりまく環境とのかかわりのなかで営まれてきた。しかし現代、政治や経済、あるいは文化の枠組みは大きく変動しつつある。そのような状況においては、地域というものも固定的に捉えるのではなく、問題に応じた時間的・空間的広がりを設定し、そのなかでそれぞれの営みを追いかけていく必要があるだろう。本講義では、主に日本とアジアを中心とする具体的な事例をもとにしつつ、変わりつつある地域を捉えるための地理学・民俗学・文化人類学・歴史学からの捉え方を紹介し、現代社会に対する学際的な理解を深める。 | (比文開設) 西暦奇数年度開講。 【受講制限数120名】 |
| 1E02021 | 破壊と再生の歴史・人類学 | 1 | 1.0 | 3・4 | | | | | グローバルな現代文明を生きる私たちは、社会的暴力、あるいは自然災害、地球規模の環境破壊に至るまで、さまざまな形態をとる破壊に直面している。同様の状況は、人類史における過去の変革期にもしばしば出現した。本講義では、かかる変革期に発生した自然災害および戦争に注目し、それらによる破壊の状況と形態、また、破壊後における再生の方法を検証し、現代の私たちに課されている問題を考えていく。 | (比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数120名】 |
| 1E02031 | 比較文化の探求—名著のすすめ— | 1 | 1.0 | 3・4 | 春AB | 月2 | 2C404 | 白戸 健一郎 | 人文・文化研究において、文献との出会いは重要である。感銘を受け、学問的に刺激された文献は、研究上のみならず、その人の生き方にも影響を与えることがある。本講義では、グローバル時代において比較文化を探求する教員が自ら選んだ、学生必読の文献を紹介しつつ、高度かつ専門的な視野から文化を読み解く方法を考えていく。 | (比文開設) 【受入上限数120名】 |
| 1E03011 | 日本とは何かIII | 1 | 1.0 | 3・4 | 春AB | 月2 | 2B507 | 沼田 善子 | 現代の私たちが自明のものとしている「日本語」「日本文化」の概念に、近年の研究動向を踏まえつつ再検討を加えることで、「日本とは何か」を考えていく。 | (日開開設) 日本語・日本文化学類生の履修を認めない。 【受入上限数120名】 |
| 1E04011 | 国際社会における戦争と平和 | 1 | 1.0 | 3・4 | 秋AB | 月1 | 1C310 | 南山 淳 | 本講義では、国際社会における戦争と平和の構造的特質について、国際紛争が発生するメカニズム、グローバル化する安全保障、平和構築の条件等、具体的な諸問題を考察することで、現代国際関係に対する理解を深める。 | (社会開設) 西暦奇数年度開講。 【受入上限数120名】 |
| 1E04021 | 個人情報保護 | 1 | 1.0 | 3・4 | | | | | 個人情報保護制度と現状の問題点について解説する。 | (社会開設) 西暦偶数年度開講。【受入上限は一応350人としておくが、仮に超えたとしても受講制限はしない予定。】 2019年度開講せず。 |
| 1E06011 | 学校を考えるIII | 1 | 1.0 | 3・4 | 秋AB | 月2 | 2C102 | 佐藤 博志, 川口 純, 江角 周子 | これからの学校と教師の在り方について論究する。はじめに、学校をめぐる社会変動と教師の専門性論について日本を中心に解説する。次に、開発途上国の学校と教師について講義する。最後に、教育相談、カウンセリングに焦点を当てて、教師の実践技法について、理論的裏付けもふまえながら、解説・実践する。 | (教育開設) 人間学群学生の受講は認めない。講義の一部にディスカッションを取り入れるため、受入上限数を80名とする。平成28年度と平成27年度に科目番号1B06031「学校を考えるIII」(総合科目11)の単位を修得した学生は、この授業の履修を認めない。 |
| 1E17011 | 経済学入門III | 1 | 1.0 | 3・4 | 秋C | 火3,4 | 3A306 | 佐野 幸恵, 秋山 英三 | ミクロとマクロをつないできた統計物理学を背景に、近年発展してきた「社会経済物理」について、その歴史的な流れから最先端の話題まで紹介します。 | (社工開設)【受入上限数120名】 |
| 1E25011 | 社会のなかの建築デザイン | 1 | 1.0 | 3・4 | 秋A | 火1,2 | 5C301 | 貝島 桃代, 加藤 研 | デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについて、建築デザインの観点から、デザインの可能性を探る。 | (芸術開設) 平成28年度までの「社会のなかのデザイン」を修得済みの学生は履修できません【受入上限数78名】 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------------------|------|-----|--------|------|-----|-------|---------------------------------------|--|-----------------------|
| 1E25021 | スポーツ芸術表現学 | 1 | 1.0 | 3・4 | 春AB | 火6 | 5C216 | 太田 圭, 嵯峨寿, 田中 佐代子, 大原 央聡, 田島 直樹, 山本美希 | 「スポーツ芸術」とは「スポーツをテーマとした芸術作品」のことで、本授業では、これらを「創る」「観る」「支える」という3つの立場から捉える。オリンピックの芸術競技をはじめとした美術史におけるスポーツ芸術、2020年東京オリンピック・パラリンピックの「文化プログラム」、現代におけるスポーツとデザインの関わり等を、アーティスト・デザイナー・漫画家等の多様な視点から学び、新しいスポーツ芸術の表現について考える。 | (芸術開設) 【受入上限数120名】 |
| 1E90011 | Topics in Social Sciences | 1 | 1.0 | 3・4 | 秋AB | 水1 | 1C306 | モゲス アブギルマ, 関 能徳 | This course deals with advanced and contemporary topics in social sciences from the conceptual, practical, and public policy perspectives. The first half of the course will cover topics ranging from economic development, inequality and poverty, inter-and-intra national migration, political economics of public policies, sustainable development, and the prospects as well as the challenges of globalization. In the second half of the course, students will read, evaluate, and discuss five published papers in the field of political science. The goal of this exercise is to understand the fundamental goals of social science research: finding and solving interesting puzzles in order to improve our understanding of the world. The topic of these five readings includes labor strikes, party system change, colonialism and development, vote buying, and censorship in dictatorships. | 英語で授業。 JTP |